

# 神奈川大学スプリングキャンプ参加報告書

報告者 川井 剛 (中体連)



SHONAN HIRATSUKA CAMP 2019 (2019.2.20現在 訂正済み)

3月21日(木) @神奈川大学湘南ひらつかキャンパス

Aコート			Bコート			Cコート		
開始時間	TO	FW	開始時間	TO	FW	開始時間	TO	FW
1 10:00	東海	立命	1 10:00	房総	筑波	1 10:00	大体	中京
2 10:50	筑波	東海	2 10:50	大東	筑波	2 10:50	中京	日体
3 11:40	国士	名経	3 11:40	立命	大東	3 11:40	大体	日体
4 12:30	名経	江戸	4 12:30	仙台	国士	4		
5 13:20	江戸	仙台	5 13:20	国士	中京	5		
6 14:10	日体	大東	6 14:10	大東	名経	6 14:10	中京	立命
7 15:00	房総	日体	7 15:00	大体	大東	7 15:00	大東	江芦
8 15:50	立命	筑波	8 15:50	東海	京都	8 15:50	名経	仙台
9 16:40	筑波	大東	9 16:40	仙台	東海	9 16:40	大東	大東

※全試合を前後半10分、ハーフタイム5分の試合時間で行い、第3Q、第4Qを想定したものとす。

3月22日(金) @神奈川大学湘南ひらつかキャンパス

Aコート			Bコート			Cコート		
開始時間	TO	会場	開始時間	TO	会場	開始時間	TO	会場
1 10:00	筑波	中京	1 10:00	房総	仙台	1		
2 11:40	早大	日経	2 11:40	神大	神奈川	2 11:40	立命	江芦
3			3			3		
4 15:00	関学	筑波	4 15:00	房総	早稲田	4 15:00	中京	江芦
5			5 16:40	大東	日経	5 16:40	仙台	立命

※全試合フルゲームで行うものとする。

3月22日(金) @秦野総合体育館

Aコート			Bコート			Cコート		
開始時間	TO	会場	開始時間	TO	会場	開始時間	TO	会場
1 11:30	東海	大東	1			1		
2 13:30	名経	法政	2 13:30	国士	関西	2		
3 15:30	関西	東海	3 15:30	名経	国士	3 15:30	法政	大東

※全試合フルゲームで行うものとする。

3月23日(土) @神奈川大学湘南ひらつかキャンパス

Aコート			Bコート			Cコート		
開始時間	TO	会場	開始時間	TO	会場	開始時間	TO	会場
1 10:00	東海	関学	1 10:00	神大	立命	1 10:00	大東	法政
2 11:40	筑波	専修	2 11:40	中央	関西	2 11:40	日経	江戸川
3 13:20	大東	東海	3 13:20	神大	大東	3 13:20	仙台	国士
4 15:00	日経	中央	4 15:00	専修	関西	4		
5 16:40	大東	国士	5 16:40	江芦	関西	5		

※全試合フルゲームで行うものとする。

3月24日(日) @神奈川大学湘南ひらつかキャンパス

Aコート			Bコート			Cコート		
開始時間	TO	会場	開始時間	TO	会場	開始時間	TO	会場
1 10:00	東海	日経	1 10:00	神大	関西	1 10:00	大東	拓殖
2 11:40	中央	江芦	2 11:40	専修	関西	2 11:40	大東	国士
3 13:20	神大	東海	3 13:20	拓殖	関西	3		
4 15:00	専修	中央	4 15:00	国士	江芦	4		

※全試合フルゲームで行うものとする。

3月23日(土) 11:40~

CC: 佐田(山梨A) U1: 川井 U2: 新井(東京B)

対戦カード 京都産業 対 専修

《PGCについて》

- ①ベーシックなメカニクスについて
- ②クルーワークについて
- ③新ルールについて確認
- ④3人の基準をそろえるために、クルーの判定を把握すること
- ⑤パンフレットや各ブロックの様子からゲーム状況を予測
- ⑥テンディングやインターフェアへの備え

《ゲームについて》

大きなトラブル等なくスムーズに進行できた。

前半、自分のファウルコールが少なかった。

後半になって新ルール対応の14秒リセットのケースがあった。

クルーの判定について、選手がコミュニケーションを図ってきた。これまでの経験から、選手の声に耳を傾け、選手の思いを聞くようにし、短く返すことを心掛けた。

4Qにスティールからのブレイクの場面でUFかNUFかのシチュエーションがあった。自

分のプライマリで起こった現象で、C4のUFとして処置をした。その際、内心ボールコントロールがあったかどうか不安がよぎったが、コミュニケーションを図ることが出来ずにそのまま処置をした。後に映像で確認したところ、ボールコントロールをしておらず、C4では成立していないことが分かった。



C サイドに3ペアできたので、リードがローテーションを開始。  
ボールマンへのスクリーンがおこり、C はステイしてプレイを捉えている



白のDF がスイッチアップで対応  
この時、このプレイを捉えるために、一歩でもハイセンターに動いておくべきだった  
この後、青がボール失う



青がボールを失ったときに慌ててレベルを上げたが、その直後に青の選手が白の選手と接触を起こした  
慌てていた結果、白のボールコントロールがあったか、不確かな状態での判定に

《ゲーム後》

クルーでの MTG

- ローテーションのタイミングが後半の方がよかった
- ダブルコールがあった際、どちらがレポートをするのかアイコンタクトが必要だった
- クロックが流れていたり止まらなかつたりしたので管理の徹底を
- UF のケースについて

コミュニケーションを図ればよかった

映像を確認すると、触れ合いの中身として青の選手が白の選手の手をつかんでいるようにも見える。C3 やC4は成立しないとして、C1の可能性もあったかもしれない。

3月23日(土) 14:00~

CC: 佐田(山梨A) U1: 川井 U2: 新井(東京B)

対戦カード 東海 対 大阪学院 後半のみ

《PGCについて》MTGから引き続き・・・

- ①クロック管理
- ②ダブルコールの際のアイコンタクト
- ③UFになりそうなケースでのコミュニケーション

《ゲームについて》

クロック管理は意識をすることができた。

ダブルコールになるケースがなかったが、プライマリを意識してコール/ノーコールとしたUFのケースもなかった

《ゲーム後》

クルーでのMTG

- ・ローテーションのタイミングがとてもよかった
- ・東海の手を使い方について早めに対応でき、よかった。

3月24日(日) 11:40~

CC: 田中(鳥取A) U1: 川井 U2: 岸本(岡山B)

対戦カード 大阪体育 対 国土館

《PGCについて》

- ①メカニクス/プレイコーリング/処置 について
- ②プライマリエリア・アングルについて

3人のプライマリの境界線で起こる出来ことについて誰が見るかを入念に

- ③新ルールについて確認

- ④ブラージのケース

- ⑤TOのミスがあった際の対応

《ゲームについて》

ゲーム序盤からCCの田中さんを中心に基準を示す

カッティングしてくる選手に対しての守り方、ポスト争い、リバウンドなど、オフボールでの攻防をクリーンにすることができなかった

後半になり、ゲームが荒れ模様。

【ケース1】

白のショット成功後

青スローイン時に、白の選手がタウンティング

→TF

その様子を見て腹を立てた青の選手が当該白の選手に詰め寄りタウンティング、それに対してまたその白の選手が言い返す

→WTF

WTF は相殺。青に FT 1 本を与え、青のエンドスローインで再開



白の選手が赤の選手に対して大声でタウンティング行為

※後に映像を確認すると、赤の選手が何かを言い、それに対して言い返したりアクションが大きかったことが分かった。とすると、初めに何かを言った赤の選手にも TF が必要であったのではないか。



大声でのタウンティングに対する TF をレポートに行く最中、他の赤の選手が大声を上げた選手に詰め寄る。

この際、お互いに言い合うところを残り二人が把握しており、WTF として処置  
※白の選手はこれで2つ目の TF となり、退場となった。

### 【ケース2】

青のブレイク中

白の選手が激しくコンタクト

→C2 の UF

それに対して青の選手がタウンティング

→TF

罰則は等しくないので、UF、TF それぞれの罰則を適用。

現場では先に UF の処置をして、次に TF の処置。その後、赤のスローインラインからショットクロック14秒で再開した。

しかし、TF の罰則から適用であることが後で分かった。



白の選手の激しい接触で赤の選手が転倒  
少し前のタウンティングが頭をよぎり、デッドボールに意識を集中させた



接触を受けた赤の選手が白の選手に詰め寄る

ここでのやりとりを見逃さず、タウンティングでの TF

この後の処置をクルーで確認したが、FT の順番を間違えてしまっていたことが後から分かった

## 《ゲーム後》

### クルーでの MTG

- WTF や UF~TF というケースの際、3人で寄って確認をしたが、理解が不十分であったり、3人の認識が違ったりする場面があった。
- 3人で寄って確認する際、選手をどのようにして待たせるべきだったか話題になった。3人で話している際の選手の様子をいかに把握するか、意識が足りていなかった。



ケース2の際、3人で集まっている間に選手同士が関わるることができる距離に。両選手が接触できない距離に置くことなどが必要だったかもしれない。



ケース1の際も、結果としてそれぞれのチームが集まり、それ以上のもめ合いにはならなかったが、この場面でもレフリーがイニシアチブをとって、待機場所を示すことが必要だったのかもしれない。

## 《全体を通して》

関東に出て大学生のゲームを吹くという機会が初めてで、刺激の多いものとなった。自分の引き出しにはないケースが実際に起り、これを CC として自分が処置をするとしたら・・・と考えると、まだまだ経験が足りないことも分かった。

同世代の人たちも多く、取り組みの姿勢に刺激を受けた。また、ブロック推薦で京王杯に臨む方々の落ち着きや CC としての立ち振る舞いがとても勉強になった。

今回の経験を県内、ブロックに還元できるようにさらに研鑽を積みたいと思う。